

第249回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成24年2月9日（木）10：10～10：25
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

平成24年2月9日午前8時現在、最小値が西会津町野沢小学校の0.04 μ Sv/h、最大値は飯舘村長泥コミュニティセンターの4.95 μ Sv/hとなっている。

概ね横ばいまたは減少傾向を示しているが、数日間、積雪量等が減少して数値が高めとなっている。

（2）東京電力福島第一原子力発電所2号機における温度上昇について

原子力安全・保安院：別紙資料により説明

2月2日頃から2号機の圧力容器の下部で温度上昇が1箇所（【参考資料】左図の圧力容器底部ヘッド上部温度測定位置0°方向）確認されている。

注水配管の流量変更により温度上昇が確認されたということで、2月3日夜から注水量を元に戻したが、温度上昇が継続しているということから、2月5日から6日にかけて給水系からの流量を1トンずつ増やし、2月7日には臨界防止の観点からホウ酸水を注入し、コアスプレイ系からの注水量を3トン増やした。

2月7日以降、温度上昇が収まり、最新のデータとして2月9日の7時で66.7 になっており、概ね66 から68 の間で温度が推移している。

原子炉内のガスの核種分析でキセノンも検出限界値未満となっており、発電所内のモニタリング結果も安定していることから、原子炉の安全性に特段の問題は無く、冷温停止状態は維持されていると考えている。

今後も引き続き、温度については厳重に管理して、監視していく。

また何かあれば、例えば80 を超えるようなことになれば、新たな対策を行っていくことにしている。

知 事：

この問題は、内閣総理大臣がサイト内の収束宣言をした中での事象であり、場合によっては信頼に関わってくる可能性もある。

11ヶ月が経ち、県民も一部落ち着き、県外に行っておられる方も福島県に戻るというような話を聞いている中で、このようなことは決してよくないことであり、綿密に、詳細にしっかりと対応することを要望する。

(3) 自動車走行サーベイ結果に伴う環境放射線モニタリング詳細調査(伊達市)について

生活環境部長：別紙資料により説明

伊達市においては、既に詳細調査を実施しているところだが、市、住民等の意見を踏まえ、自動車走行サーベイを行った結果として比較的線量が高かった地区について、追加的に詳細調査を行う。

調査地区は、保原町と霊山町の一部の24地点。

調査方法は、宅地の庭先・玄関先の高さ50cm及び1mの地点での空間線量率を測定する。

(4) 警戒区域内にある自動車に対する賠償について

原子力損害対策担当理事：

2月7日に、財物として初めて、自動車の一部について賠償が開始されることになった。

内容は、警戒区域内にある自動車で管理不能になって故障した自動車、放射線量が高くて持ち出せない自動車、抹消登録済みの自動車等、限定付きではあるが賠償を開始するというこうとで、東京電力で該当する方に連絡の通知をしている。

今回は、2輪車や特殊自動車は除かれており、これらについては市場価格をどのように算定するか算定方式が非常に難しいということで引き続き検討されている。これらについても、できる限り早く実施するよう申し入れている。

家屋、動産等についても早急に基準を作成し賠償を開始するよう、東京電力に対して強く申し入れているところである。

松本副知事：

今日も原子力損害賠償紛争審査会があり、積み残しの分について議論がなされると聞いているが、先般1月27日に開催された時には、知事を始め各市町村長の意見開陳があったところである。我々の要望がきちりと指針に反映させるよう、引き続き審査会等への要望活動、情報の提供をお願いする。

特に、区域見直しと密接に関わってくるところかと思うので、地元の意向が十分反映させるような取組をお願いする。

もう1点として、災害対策関係の情報の管理の問題で、先般、応急仮設住宅の関

係の情報の一部について紛失があった。

災害対策業務等の情報管理の徹底について、県のみならず市町村、関連業者、関連団体に対しても趣旨の徹底をお願いする。

知 事：

明日で11ヶ月を迎えるわけであるが、皆さんの活躍本当にありがとうございます。

先週4回目の福島復興再生協議会を行い、福島復興再生特別措置法もいよいよ案が出て、これから審議ということになる。この特措法が福島県の新生、復興の基礎、礎になるので、それぞれ部門の中で法律にしっかりと入れとかなければならないことがありましたら、担当部に申し入れてもらいたい。

また、他の都道府県から来ていただいている皆様も、福島県にとって大事なことだというようなことがあれば、どんどん申し出ていただければありがたい。

政府もいよいよ復興庁スタートということで大きな節目となる。これが新生福島にしっかりつながって、揺るぎないものになるよう、一層の尽力をお願いしたい。

次回は、2月13日（月）午前10時30分から開催する。